

お宿日本 2011 プロジェクト

「お宿日本 2011 プロジェクト」は、2011 年の震災で被災された日本の方々に、フランスホストファミリー宅での滞在と、その為に必要なネットワークを提供する目的で立ち上げられたプロジェクトです。この滞在期間は、被災された方の希望で調整します。観光ビザの期間内でしたら 3 ヶ月間、フランスに滞在することができますが、取得されるビザの種類によっては 1 年間、滞在できます。（詳細はフランス大使館の HP をご参照ください。）日本の滞在希望者は、個人、夫婦、家族、多様な方々を受け入れています。

主催者側は、日本の滞在希望者・フランスのホストファミリーの両方の希望（喫煙されるか、都会・田舎の滞在が良いか、農業従事者の家庭に滞在されたいか等）をもとに受け入れを調整します。もし、日本の滞在希望者側から受け入れ先に対する希望が特にならない場合は、主催者側がプロジェクトに参加している全 62 フランス家族（2012 年 8 月現在）と調整し、受け入れのホストファミリーを選び、滞在希望者にご紹介させていただきます。

紹介後は、滞在希望者・ホストファミリー同士で直接、滞在するのに必要な事項（家賃・食費等）を話し合ってください。もし話し合いが全て順調にいった場合は、決められた事項を、ホストファミリーの方から「契約書」として文書にし、滞在希望者にメールでお送ります。（この両者の話し合いの時点で何か不都合な点が発生した場合は、この滞在は成立しません。）そして、その「契約書」を確認の上、滞在希望者は主催者側にも最終的に、フランスに滞在に来るかどうかをご一報ください。

また、主催者側は、今後 2012 年－2013 年にかけて、このプロジェクトをより円滑に進めることができるように、中央・地方行政、弁護士と共に受け入れ態勢を整えようと計画しております。

もしこの「お宿日本 2011 プロジェクト」について、ご質問、ご興味がある方は、プロジェクト責任者の Gérard Mannig までお気軽に連絡ください。

E-mail adresse: Gérard Mannig, fukushima-hebergements@laposte.net

Skype : okinawa761

Face Book : <http://www.facebook.com/groups/fukushima.hebergements/>

日本語でのメールをご希望の方はプロジェクトの日本窓口である、小嶋里奈までご連絡ください。

E-mail adresse: oyado.nihon.2011@hotmail.co.jp

この「お宿日本 2011 プロジェクト」にご興味ある被災者の方、特に農業者、漁業者、水産業者（日本の食品の未来を担う方）がおられましたら、こちらのプロジェクト紹介を転送してください。

心をこめて、
プロジェクトメンバー一同。



・写真は昨年、こちらのプロジェクトを通して、フランスに滞在された日本人男性（左）とプロジェクト責任者の Gérard Mannig（右）。